

徹底した行財政改革等

～市の財務体質は大きく改善～

■行財政改革

効果額100億5千万円 (H26～R5:10年間)

- ・企業誘致、ふるさと寄附金の推進
- ・事務事業の見直し
- ・人件費、時間外勤務の削減 等

■市税

3億5千万円増／年 (10年前と比較)

H25年度：85.0億円 (人口64,920人 13.1万円/人)

R05年度：88.5億円 (人口59,829人 14.8万円/人)

※10年で人口5,000人減→市税1.7万円/人増収

■投資的経費

113億円計上 (R3～7:5年度間)

R3年度：7億円

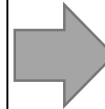
R4年度：21億円 〈3倍増〉

R5年度：24億円 〈増額〉

R6年度：31億円 〈増額〉

R7年度：30億円 〈同水準〉

各年度の当初予算額 (R4年度は6月補正後予算額)



■財政調整基金(市の普通預金)

残高 3倍増

H25年度末：16.0億円 (33位／38市)

R05年度末：47.0億円 (20位／38市)

【14～28億円(標準財政規模140億円の1～2割)が適正規模】

※R5市民1人あたり約7.8万円 (5位／38市)

■市債(市の借入金)

残高減少→学校・災害対策等へ投資大

H30～R5 総額約43億円投資

エアコン、トイレ洋式化、体育館大規模改修、防災公園、耐震性貯水槽 等 ※他に水道管の耐震化に20億円超投資

〈一般会計〉

H25年度末：59.8億円、H30年度末：49.5億円

R05年度末：63.9億円 (34位／38市)

※R5年度末の残高は県下で5番目に少ない

※ピーク時219.4億円 (H11年度末)

臨時財政対策債(地方交付税の振替)を除く通常の市債